【令和元年度】

下関市

まちづくり協議会

活動事例集

～下関市～

はじめに

下関市では、平成２７年１月に「下関市住民自治によるまちづくりの推進に関する条例」が施行され、本市が進める地域内分権の一つである「住民自治によるまちづくり」について明らかにするとともに、各地区のまちづくり協議会の設立をはじめ、市民と地域と行政が互いの役割と立場を尊重するまちづくりを推進してまいりました。

平成２８年度には、市内全１７地区でまちづくり協議会が設立され、現在、各地区において、地域の力を生かし、身近な地域課題の解決や地域活性化に向けた取組が進められています。

この事例集では、令和元年度に、市内１７地区まちづくり協議会で実施された活動の一部を紹介しています。本市の特色ある活動を市民の皆様や市外、県外に向けて発信するとともに、各地区まちづくり協議会が情報を共有し、新しい事業に取組むきっかけや、既存事業の充実を図るための参考としてご活用いただければ幸いです。

目次

１.中東地区まちづくり協議会 １

【事例１】　まちづくり協議会認知度アップ事業
　　「第１０回ドリームシップ祭りにてブース開設」
【事例２】　まちづくり協議会認知度アップ事業「まちづくり懇談会開催」
【事例３】　遊休農地活用事業「ふれあい農園」
【事例４】　子育て活性化事業「ホイールチェア・アドベンチャー(車いすでまち探索)」

２.西部地区まちづくり協議会 ３

【事例１】　オレンジカフェ「つづみ」

【事例２】　照子親(てらこや)活動(子育て支援活動)

３.向洋地区まちづくり協議会 ５

【事例１】　下関市内の公共施設の視察研修
【事例２】　認知症行方不明者　捜索模擬訓練

４.山の田地区まちづくり協議会..... ７

【事例１】　四季折々の花が咲き蝶が乱れ飛ぶ美しい街づくり
【事例２】　高齢者向けコミュニティサロン「山の田いきいきサロン」
【事例３】　名所・旧跡探索ウォーク 山の田地区まちづくり案内マップ

５.彦島地区まちづくり協議会 ９

【事例１】　多世代交流事業「彦まちカフェ」
【事例２】　彦島文化再確認事業「史跡ウォーク」
【事例３】　島内環境美化「美化(ピカピカ)大作戦」

６.長府地区まちづくり協議会 １１

【事例１】　観光活性化部会・教育部会「和装で楽しむ城下町長府」

【事例２】　商工業活性化部会
「特別展示＠まちなかギャラリー 長府の街を撮る～わたしの写真術～」
【事例３】　広報部会「長府高祭『城下町長府時代祭り写真展』地域ブース出展」

７.長府東部地区まちづくり協議会..... 13

【事例１】　城下町長府ふるさと祭りと地区文化祭
【事例２】　ハロウィン＆イルミネーション　プチフェスタ
【事例３】　３自治会(千鳥ケ丘・才川１・２町)避難訓練とまち歩き

８.東部５地区まちづくり協議会..... 15

【事例１】　子供宿泊防災教室
【事例２】　おもしろ算数・理科実験教室
【事例 3】　花いっぱい運動

９.勝山地区まちづくり協議会 17

【事例１】　体験交流農園「井田の里」開設運営支援
【事例２】　「《Ｒ２～Ｒ４年度期》新下関/勝山地区まちづくり活動計画【Ｒ２改定版】」
の取りまとめ・策定

10.内日地区まちづくり協議会..... 19

【事例１】　地域づくり研修会「ドキュメンタリー映画『奇跡の小学校の物語』鑑賞会」
【事例２】　『ペットボトルツリーを眺めるタベ』開催
【事例３】　いちご狩り＆芋の苗植え体験イベント

11.川中地区まちづくり協議会..... 21

【事例１】　第２回「子ども体験フェア」
【事例２】　しめ縄飾りづくり
【事例３】　ラジオ体操　～夏休みは子どもたちと一緒に！！～

12.安岡地区まちづくり協議会..... 23

【事例 1】　「友田川を美しくする」
【事例 2】　子ども見守り活動「7.3.15 運動」
【事例 3】　歌 Café「諸学塾・まち協 Café」

13.吉見地区まちづくり協議会..... 25

【事例 1】　毘沙ノ鼻整備事業「恐竜壁画アート」
【事例 2】　防災事業「第８回よしみ地区合同 地震・津避難訓練」

14.菊川地区まちづくり協議会..... 27

【事例 1】　防災啓発マイ・タイムライン
【事例 2】　キッズフェスタ 2020

15.豊田地区まちづくり協議会..... 29

【事例 1】　まちコンの実施
【事例 2】　健康づくり ウォーキング

16.豊浦地区まちづくり協議会..... 31

【事例 1】　防災研修会
【事例 2】　地区出前講座

17.豊北地区まちづくり協議会..... 33

【事例 1】　恋活　～出会いの場をプレゼント～
【事例 2】　リーダーの防災研修会
【事例 3】　～西伊豆古道再生プロジェクト～ 松本潤一郎氏 講演会

中東地区

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://chuto-machikyo.net/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　jimukyoku@chuto-machikyo.net

【協議会 概要】

◆設立年月日　平成 27 年 10 月 6 日
◆事　務　所　〒750-0005 下関市唐戸町 4 番 1 号 カラトピア5階
☎／🖷 :083-250-8380
◆地域の状況（人口）22,755 人（世帯数）12,473 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）日新中学校・名陵中学校（面積）7.77 k ㎡
◆設 置 部 会　▪総務部会 ▪健康福祉部会 ▪環境・防災対策部会
▪子育て・青少年育成部会 ▪地域づくり部会
◆活動の概要　▪広報紙の発行 ▪ホームページの維持・管理 ▪サロンの開催
▪図上訓練の実施 ▪防火防災教室 ▪子育て活性化行事
▪困りごとお助け隊の普及 ▪遊休農地活用事業　他

～まちづくり協議会認知度アップ事業～

【事例１】
第10回ドリームシップ祭りにてブース開設

【活動のきっかけ】

ドリームシップの運営委員を兼任している中東まち協の役員さんから、沢山の人が集まる"ドリームシップ祭り"に「まち協ブース」を設けて、活動を PR したらどうかという意見が出たことにより、今回初めてブースを開設し参加しました。

【活動内容】

令和元年 10 月 19 日
生涯学習プラザ1階入口付近に「まち協 PR ブース」を。
①北浦街道まち興しの写真をパネルに展示。
②モニター用テレビでホームページなど活動内容を放映。
③綿菓子とフランクフルトを収益無しの実費で販売。
子どもたちに好評を得ました。

【活動の成果と今後の展開】

中東地区まちづくり協議会の活動を PR することで、認知度アップの効果が得られました。次年度もまた参加していくと同時に、更に活動を広げて、小中学校や地域の文化祭にもまち協ブースを設置していこうと考えています。

【事例２】
まちづくり懇談会開催

【活動のきっかけ】

次世代を担う若手の参加、運営・活動の弾力性、11自治連合会の横の連携、まち協への関心を高める為に実施しました。

【活動内容】

令和2年 1 月 24 日と 2 月 29 日に、地域内の 11 自治連合会長さんに声を掛け実施。これまでの活動動画と地区計画策定書の概要版を示し、中東地区まちづくり協議会の運営・活動について忌憚のない意見を交わすほか、認知度のアップと参加意識の高揚についても意見交換をしました。

【活動の成果と今後の展開】

自治連合会によって、まち協の活動に対する温度差がありますが、一枚岩になるよう懇談会を更に進めていきます。
少子高齢化により地域で出来なくなった行事を、まちづくり協議会で出来れば良いと考えています。

～遊休農地活用事業～

【事例３】「ふれあい農園」

みずみずしくおいしい大根が評判です。
巨大大根も話題に!?

【活動のきっかけ】

地域内の遊休農地(耕作放棄地)活用を平成28年度に発案・提案し、開園しました。
作物の栽培を通じ、
①地域内の体験交流の場作り
②土を通じて自然とのふれあい・畏敬の念を感じて貰う
③作物を皆で育てる過程で食に対する思いを子どもたちに伝えたい等々といった思いから立ち上げました。

【活動内容】

植え付け・種まき・生育途中の管理(部会のサポーターによる支援)・収穫と合わせ全7回のイベントを実施。
①サツマイモ…6月植え付け、11月収穫。
②ジャガイモ…3 月植え付け、4月芽欠き・土寄せ、6月収穫。
③大根…9月種まき、1 月収穫。
【令和元年度来園者】312名(内 子ども68名)
※平成28年開園以来のべ 1252 名来園!

【活動の成果と今後の展開】

①遊休農地活用普及への期待をしています。
②広範囲の交流の輪ができました。
③子どもたちに作物の成り立ちを理解してもらう体験は思い出になると同時に、先々の役に立つのではないかと思っています。
今後はスペースを利用し、農園&フラワーガーデンを考えています。来園者に四季折々の花の種まきや野菜の栽培などを楽しんで頂きたいと願うとともに、多くの人に農園管理に携わって頂くことで更なる交流の輪が広がることを期待しています。

～子育て活性化事業～

【事例４】「ホイールチェア・アドベンチャー(車いすでまち探索)

【活動のきっかけ】

子どもたちに車いすを体験してもらい、支え・支え合うことで、優しさ溢れるいたわりの心と、普段の生活とは違った目線での街の景色を体感して欲しいとの想いで企画しました。

【活動内容】

【実施日】令和元年８月5日
【参加者】大人 24 名・子ども 49 名、計 73 名⇒10班作成
【内容】班ごとに順番に車椅子に乗る人・押す人に分かれて国道を渡り、唐戸商店街を通って、市役所でゴール! 車椅子を回収後、班長は市長と歓談を。その後、全員で市議会議場見学も行いました。最後に市役所の議会全員協議会室で、各班ごとに体験発表を行いました。

【活動の成果と今後の展開】

多くの子どもたちが参加し、障がい者目線を実感することで街の障害物に関する学習ができ、有意義な企画でした。
今後も、子どもたちの健全育成のため、まち協ならではの、様々な行事を企画していきたいと思います。

まちづくりのヒント✍

●部会内外で協働しながら、全員が当事者意識を持ちつつ、地域の人を巻き込んだ活動の検討が重要です。

西部地区

【シンボルマーク策定経緯】

令和元年度に、歴史や海に囲まれた環境をイメージしたシンプルなものを題材に、西部地区に所在する小中学校、高校に募集をかけ、１４点の応募の中から最優秀賞として選定しました。

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　https://seibumachi.jimdofree.com/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　qqsp7hv9k@cap.ocn.ne.jp

NEW

【協議会 概要】

◆設立年月日　平成 28 年 2 月 2 日
◆事　務　所　〒750-0065　下関市伊崎町一丁目 4 番 30 号　西部公民館内
☎／🖷　：　083-250-6455
◆地域の状況　（人口）　11,748 人　（世帯数）　7,357 世帯　（R1.10.1 現在）
（中学校区）文洋中学校　（面積）3.25 ｋ㎡
◆設 置 部 会　▪総務部会　▪福祉部会　▪教育部会　▪安全・安心部会
◆活動の概要　▪地域交流事業　▪広報紙の発行　▪ｵﾚﾝｼﾞｶﾌｪつづみの運営
▪「子育て支援」活動　▪自転車講習会　▪防災研修会　他

【事例１】オレンジカフェ「つづみ」

午後１時半～午後３時
毎月第一土曜日開催！

【活動のきっかけ】

西部地区は、年々高齢化率が上昇しており、一人暮らしのお年寄りも増えてきています。このような現状にあるため、地域の皆さんが集える場所としてオレンジカフェつづみを開設しています。

【つづみの思い】
1. 病気を意識せずに気楽に過ごせる。
2. 自分の役割が持てる。
3. 自分と家族が社会と繋がる。

【活動内容】

【令和元年度 開催日程】

第 22 回	4 月 6 日	卓球バレーと茶話会
第 23 回	5 月 11 日	音楽で遊ぼう 音楽療法(大きな声で歌い楽しむ)
第 24 回	6 月 1 日	卓球バレーと茶話会
第 25 回	7 月 6 日	みんなで歌おう ギター演奏によるカラオケと合唱
第 26 回	8 月 3 日	笑いヨガ
第 27 回	9 月 7 日	みんなでちょっと体操
第 28 回	10 月 5 日	思い出のメロディー
第 29 回	11 月 2 日	手品と頭の体操
第 30 回	12 月 7 日	卓球バレーと茶話会
第 31 回	1 月 11 日	三味線でご一緒に
第 32 回	2 月 1 日	みんなで歌おうギター演奏でカラオケと合唱
第 33 回	3 月 7 日	リラックスヨガ(新型コロナウイルス対策で中止)

【活動の成果と今後の展開】

西部地区の多くの住民が参加しています。今後もオレンジカフェつづみは継続して行きますが、活動内容についても皆さんが楽しく参加できる企画を考えていこうと思っています。

平均参加者６０名程度

思い出メロディー♪

みんなでちょっと体操

【事例２】照子親（てらこや）活動（子育て支援活動）

【活動のきっかけ】

家庭、地域、社会の状況、意識などが大きく変化している中で、子ども達の育つ場や機会の充実が求められています。子育ての不安や悩みを軽減・解消するためのこれからの取組として、教育部会は、子育ての家庭に寄り添う環境づくりとして、『照子親（てらこや）』活動を始動することとなりました。

【活動内容】

①7 月 31 日⇒夏休み勉強会とスポーツ交流（文洋中学校）
地域の方々との学習やスポーツ交流を行いました。

②8 月 7 日⇒1 日バス研修(福岡県青少年科学館)
壮大な宇宙の秘密について学びました。

③8 月 26 日・27 日⇒宿泊学習 深坂自然の森
1 日バス研修で学んだ事を自然にふれあい体験しました。

シャワークライミング！

【活動の成果と今後の展開】

①の活動では、地域の方との交流で、楽しい時間を過ごせました。
②の活動では、両親も知らなかった宇宙の秘密がたくさんあってビックリ！ 理科の勉強への楽しさにつながることを期待しています。
③の活動では、自然体験としてシャワークライミングでは誰一人あきらめることなく、最後まで頑張って滝のぼりにチャレンジしました。
今後も照子親活動を継続していきます。

まちづくりのヒント

●活動内容や規模に応じて活動エリアを決めて実施することが重要です。

●既存事業の活用や人材育成などが今後の課題となります。

向洋地区

メールアドレス　koyochikumachidukuri@helen.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

◆設立年月日　平成 28 年 9 月 1 日

◆事　務　所　〒750-0047 下関市向山町 14 番 1 号
向山小学校内
☎／🖷:083-250-7333

◆地域の状況（人口）9,470 人（世帯数）5,259 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）向洋中学校（面積）1.92 k ㎡

◆設 置 部 会　▪総務部会　▪健康部会　▪生活環境部会
▪健全育成部会　▪広報紙の発行

◆活動の概要　▪地域づくり研修会　▪高齢者対策事業　▪社会参加促進事業
▪防災マップ作成　▪図上防災訓練　▪PTA連携集会
▪子供・地域の交流　▪世代交流イベント 他

【事例１】下関市内の公共施設の視察研修

【活動のきっかけ】

蛇口をひねると出る水がどこから送られ、どのようにして各家庭に送られているのか？ 分別して出したごみが、回収後どのように分別されて最終処理されているのか？ そういったことを学ぶために行いました。

【活動内容】

下関市内の公共施設の視察研修を行いました。

◆高尾浄水場

必要な生活水はどこから送られ、ろ過されていくのかを調べに行きました。内日貯水池から来た水が、明治39年に作られた高尾浄水場着水井に届き、ここからそれぞれのろ過池に行き、家庭に送水されていきます。

◆しものせき環境みらい館

プラなどの不燃物を回収し、手作業で仕分けする「しものせき環境みらい館」では、機械などではできない分別を手作業でしています。ここで、リサイクルができるもの・できないものの分別の大変さを見ました。

◆下関市環境部 奥山工場

ここでは、焼却ゴミを 850°の焼却炉で焼却しており、発生した余熱を温浴施設に供給し、灰積されたものがセメント原料化処理施設に送られると説明を受けました。

【活動の成果】

大まかに分別をしておけばよいと思っていましたが、回収してからの作業工程についての説明を受けることで、もっと細かく分別をして作業員さんの手間を省いていきたいと感じました。

【事例２】認知症行方不明者 捜索模擬訓練

【活動のきっかけ】

地域の高齢化が進む中、独居家庭が多くなり、ご近所同士の交流が少なくなってきました。
そういった状況下で、どのようにして地域の見守りなどをしていくのかということを考え、企画しました。

【活動内容】

認知症行方不明者訓練を行うにあたって、
認知症サポーター養成講座を、包括支援センターの協力の下に２回開催しました。
また、捜索模擬訓練を、本庁西部包括支援センターの指導の下に「フロイデ金比羅」「金比羅町自治会」「民生児童委員」の共催で行いました。

【活動の成果】

令和２年２月に２回の認知症サポーター養成講座を開催したところ、70 名余りの参加者があり、模擬訓練も大変盛り上がりました。
しかしながら、コロナウイルスの発生により令和２年度の開催を中止し、翌年度の開催へ変更することとなりました。

山の田地区

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://yotuba2017.sakura.ne.jp/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　yamanotamachizukuri@road.ocn.ne.jp

【協議会 概要】
◆設立年月日　平成 28 年 6 月 14 日
◆事　務　所　〒751-0834 山の田東町4番13号 勤労婦人センター内
☎:083-250-7955　:083-250-7965
◆地域の状況（人口）18,331 人（世帯数）9,335 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）山の田中学校（面積）3.77ｋ㎡
◆設 置 部 会 ▪総務部会 ▪健康福祉部会 ▪青少年育成部会 ▪安全･安心部会 ▪環境部会 ▪産業･文化部会 ▪専門委員会
◆活動の概要 ▪広報紙の発行 ▪ホームページの作成管理 ▪美化運動 ▪河川の自然環境保全 ▪ハザードマップ作成 ▪防犯講習会 ▪認知症対策 ▪健康推進対策 ▪地区の歴史探求 他

～地域力アップ事業～

【事例１】四季折々の花が咲き蝶が乱れ飛ぶ美しい街づくり

【活動のきっかけ】

地域力アップ事業として、「四季折々の花が咲き蝶が乱れ飛ぶ美しい街づくり」を目指し、各地域の花壇やコンテナに四季折々の花を植えて育成しています。
そういった活動の中、平成30年に、武久団地自治会の集会所の空き地を、高齢者の「ふれあいの場」とし、「フジバカマ」を植え「アサギマダラ」を呼ぶ「ロマン」に取り組みました。今回も、フジバカマの花の開花時期にアサギマダラの群れが現れ、皆さんが楽しく鑑賞できるよう活動を引き続き行うこととしました。

【活動内容】

●豊浦町にある「リフレッシュパーク豊浦」でフジバカマの苗、572 株を採取。
●準備を整えた各地区の自治会と学校の、公園･花壇等に植え付けを。水やり･草刈りをしながら成長を見守りました。
【各地区植え付け数】
･大学町　60ポット
･幡生　130 ポット
･山の田　170 ポット
･武久　70 ポット
･学校　60 ポット
･その他　82 ポット

【活動の成果と今後の展開】

春に植えたフジバカマがよく育ち、秋に沢山の花をつけました。
開花に合わせ、待望のアサギマダラの飛来が。蝶を眺め、にぎやかで楽しい集いの場となったほか、新聞にアサギマダラ飛来の記事が載るなど、うれしいニュースが地域に広がりました。
今後とも、山の田が「アサギマダラの町」と呼ばれるような花の咲くうるおいのある場所になるよう頑張っていきます。

「旅する蝶 アサギマダラ」
名前のとおり
浅葱色の羽をしています

【事例２】高齢者向けコミュニティサロン「山の田いきいきサロン」

【活動のきっかけ】

元気に長生きする秘訣は、「きょういく」と「きょうよう」と言われています。今日行く所がある・今日用事があることです。高齢者の認知症予防・健康長寿につながることを目的に、高齢者の方々が集まれる場として平成３１年４月より開設することとしました。

【活動内容】

【開催日】毎月　第2・第4木曜日
【内容】
毎回ゲストの方を招き、楽しく・ためになる催しを行っています。
●マジックショー　●バンド生演奏　●舞踏　●寸劇
●歴史の話　●認知症・転倒防止など医療講座
●消費者講座　　等々

【活動の成果と今後の展開】

参加された方々より好評を頂きました。
家に引きこもりがちな高齢者の方々が集まり、笑い、おしゃべりをし、体を動かすことで心身とも健康で穏やかとなり、当初の目的である認知症予防・健康長寿につながっているのではないかと考えています。今後とも、様々な催しを行い、コミュニティサロンとして運営していきます。

【事例３】名所・旧跡探索ウォーク　山の田地区まちづくり案内マップ

山の田地区の名所・旧跡探索ウォークができる

「山の田地区まちづくり案内マップ」

を新たに作成しました♪

彦島地区

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.hikoshima.jp/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　hikomachi@hikoshima.jp

【協議会 概要】
◆設立年月日　平成 28 年 7 月 21 日
◆事　務　所 〒750-0075 下関市彦島江の浦町一丁目 3 番 1 号彦島公民館内
☎:080-1916-0716
◆地域の状況（人口）25,458 人（世帯数）12,789 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）彦島中学校･玄洋中学校（面積）11.26ｋ㎡
◆設 置 部 会 ▪総務安全部会 ▪健康福祉部会 ▪子ども部会 ▪六連島部会
◆活動の概要 ▪地域づくり研修会 ▪広報紙の発行 ▪ホームページ作成管理
▪広域防災訓練 ▪高齢者のサポート ▪スポーツ大会
▪あいさつ運動 ▪子育て支援 ▪多世代交流 ▪島外交流 他

【事例 1】多世代交流事業「彦まちカフェ」

【活動のきっかけ】

彦島地区は、65 歳以上の高齢者が多い状況です。そのような中、認知症予防、孤立防止のために役立てたいと思いふれあいサロンを始めました。人と関わる中で楽しさを知って頂き、明るく元気に健康な心身を作って頂きたいと思っています。

彦島八幡宮柴田宮司の講話カフェ(彦島ものがたり)

【活動内容】

【実施】令和元年 10 月～翌年 3 月まで（1 回/月）
【内容】◆誰でも参加出来るふれあいサロンの提供
◆参加者が笑顔で過ごせ、元気になるような参加型イベントを実施
・第 13 回　10 月 9 日　「歌声広場･落語カフェ」（参加者 98 名）
・第 14 回　11 月 13 日　「講話カフェ」彦島ものがたり･健康講座（参加者 108 名）
・第 15 回　12 月 11 日　「スポーツカフェ」トリコロキューブ･ノルディックウォーキング（参加者 98 名）
・第 16 回　1 月 26 日　「移動カフェ」向井小校区の塩浜町民館にて開催（参加者 150 名）
・第 17 回　2 月　5 日　「手づくりカフェ」ひな人形作成（参加者 63 名/40 名（定員））
・第 18 回　3 月　8 日　「彦まちフェスタ」新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止

落語カフェの様子

【活動の成果と今後の展開】

回を重ねるごとに、住民の方の参加が多くなり、開催を楽しみにして頂いています。この事業を実施することで、当初の目的の、皆さんの笑顔で元気な様子がうかがえることが、実施した成果ではないかと思っています。
今後は、好評につき通年の開催を検討して、多世代交流を積極的に推進していきたいと考えています。

【事例２】彦島文化再確認事業「史跡ウォーク」

厳流島をバックに
記念撮影📷♪

【活動のきっかけ】

彦島の歴史や文化遺産を住民に知ってもらうことで、彦島のことを誇りに思い、後の世代に伝えていってほしいという思いがありました。このため、まず、なるべくたくさんの住民とともにウォーキングしながら、彦島の文化を再確認することから始めました。

【活動内容】

【実施日】令和元年11月24日
【内容】
◆第1回目は六連島、第2回目は竹の子島を巡り、今回第3回目は「弟子待～田の首」で史跡ウォークを開催しました。
◆参加者107名
◆ウォークコース
弟子待町民館～大師堂～関門海峡沿い～水雷基地～南公園～田の首八幡宮
◆各名所では地元の歴史家の話を拝聴し、田の首八幡宮では、総代長と彦島八幡宮宮司から田の首地区の歴史を伺い、参加者は熱心に聞き入っていました。

【活動の成果と今後の展開】

自分の町に興味を持つ住民が増えました。本事業では、歴史・文化に詳しい講師に案内してもらったので、内容の濃い、史跡ウオークが実現したと感じています。
今後も史跡ウォークは適宜継続し、さらには、文化歴史の発掘、伝承の文化活動に発展したいと考えています。

【事例３】島内環境美化「美化(ピカピカ)大作戦」

【活動のきっかけ】

六連島は、菊・カーネーション・ガーベラなどの花の栽培が盛んな他、日本遺産に登録された六連島灯台や、釣りのスポットとしても有名で、渡船にて多くの釣り人・観光客が訪れます。また、島の散策を楽しもうとウォーキング目的の個人や団体も訪れています。
日本遺産の保全や観光客などに少しでも快く来ていただくために、この事業に取り組むことにしました。

【活動内容】

◆灯台周辺や道路・海岸、渡船場周辺の掃除を実施しました。

◆しものせき ぴかぴか大作戦(令和２年３月 19 日)
⇒参加者 25 名
自治会、市役所企画課職員、ボランティア員で
砂浜の清掃（ビーチクリーン）を実施。
ボランティア袋 250 袋のゴミを回収しました。

１回/月の活動♪　のべ174 名参加

【活動の成果と今後の展開】

毎回、島民の多くの方の参加があり、環境整備に大きな関心を持って頂いています。
今後も日本遺産の保全に資するとともに、島外から来る人のおもてなしとして清掃活動を続けて行きたいと考えています。

長府地区

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://chofu-machikyo.com/

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　chofu-machikyo115@circus.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

◆設立年月日　平成 28 年 4 月 5 日

◆事　務　所　〒752-0966 下関市長府亀の甲二丁目 2 番 1 号
豊浦小学校内
☎／🖷：083-250-7450

◆地域の状況（人口）16,607 人（世帯数）7,982 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）長府中学校（面積）10.33ｋ㎡

◆設 置 部 会　▪広報部会　▪教育部会　▪健康･体育部会
▪商工業活性化部会 ▪観光活性化部会　▪環境･安全部会

◆活動の概要　▪ニュースレターの発行　▪長府の寺小屋（生涯学習講座）
▪健康教室　▪長府IPSSプロジェクト　▪観光イベント
▪海岸清掃　▪防災教室 他

～観光活性化部会・教育部会～

【事例１】和装で楽しむ城下町長府

【活動のきっかけ】

観光活性化部会では、城下町長府を舞台に外国の方に日本文化に触れてもらう事業を行っています。一方、教育部会では、児童生徒を中心に地域住民に英語のワークショップを行ってきました。観光活性化部会からの働きかけで、今回初めてコラボして実施することになりました。

【活動内容】

◆開催日時　令和元年5月25日(土)
午前9時～12時

◆開催場所　長府公民館～壇具川沿い～功山寺

◆参加者　外国の方　10名　小学生(5･6 年生)10名

◆内容　①外国の方の和装着付け体験
②地域の小学生たちと壇具川を散策
③功山寺で抹茶などの日本文化を体験

功山寺にて抹茶体験🍵

【活動の成果】

和気あいあいとした雰囲気の中で、子どもたちは外国の方たちと英語で会話をするなど、貴重な体験を得ることが出来ました。
功山寺での抹茶体験では、お互いに協力している姿が見受けられました。
参加した子どもたちからは「とても楽しかった」「もっと話をしたかった」「来年も参加したい」との声がありました。この取組で外国の方には長府を知ってもらうきっかけづくりになりましたし、子どもたちにとっては英語だけではなく、積極的なコミュニケーションを身につける機会になりました。

～商工業活性化部会～

【事例２】特別展示@まちなかギャラリー長府の街を撮る～わたしの写真術～

【活動のきっかけ】

商工業活性化部会では、長府商店街の一角に、地域住民の方たちの作品を展示する「まちなかギャラリー」を開設しています。
長府にある下関市立美術館を住民の方たちにもっと身近に感じてほしいという美術館からの働きかけにより、共同企画事業として、「まちなかギャラリー」を会場に長府の街を題材とした特別展示を開催することとなりました。

【活動内容】

【期間】令和元年6月4日～7月26日
【場所】「まちなかギャラリー」
(長府商店街協同組合事務所内 パコセ1階)
【内容】前年に下関市立美術館で開催した写真講座の作品
写真講座「わたしの写真術」における、
長府での街頭撮影会(平成30年10月27日)の
成果として製作された参加者および講師の作品
★下関を代表する写真家の
清水 恒治さんが講師を務めました。

【活動の成果と今後の展開】

様々なアングルで切り取られた街や人を「組写真」というストーリー性のある形式にまとめあげることで、「まちなかギャラリー」の中に小さな長府の街が作り出されました。
来観者からは「見慣れた街並みなので落ち着く」「長府の新たな魅力に気づいた」「美術館の講座にも注目したい」などの声が。長府の街には様々な文化・観光施設があります。今後もお互いの特性を活かして共同企画を行い、長府を盛り上げていきたいと思います。

～広報部会～

【事例３】長府高祭『城下町長府時代祭り写真展』地域ブース出展

【活動のきっかけ】

長府地区まちづくり協議会は、地区内に多くある学校と連携して子どもたちの健全育成や街の活性化に向けた取組を行っています。その活動の一環として、地域・保護者の方にまちづくり協議会の活動を知ってもらうため、高校の文化祭で地域ブースを出展しました。

【活動内容】

【期間】令和元年9月6日～9月7日
【場所】長府高校 第2校舎1階
【内容】前年に開催した
「城下町長府時代祭り」の写真の展示

【活動の成果と今後の展開】

平成30年度から豊浦高校の文化祭に出展し、31年度からは長府高校の文化祭にも学校からの声掛けで出展するようになりました。生徒、保護者、先生および地域の方約150名が訪れ盛況でした。長府地区まちづくり協議会についての質問もあり、知ってもらう良い機会となったと思います。
時代祭りへの参加をはじめ、コミュニティカレンダーの製作、清掃活動や「長府の寺子屋」など学校と協力して様々な活動を展開しています。このような活動を通して、子どもたちが誇れる街づくりにつながるようにしていきたいと思います。

長府東部地区

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ https://chofutoubu-machikyo.jimdo.com/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ machikyo-chofutoubu@aioros.ocn.ne.jp

みんなでつくる
認知症にやさしいまちづくり
防災につよいまちづくり

【協議会 概要】
◆設立年月日　平成 28 年 4 月 5 日
◆事　務　所　〒752-0932 下関市長府松小田北町 14 番 1 号
長府小学校内
☎／🖷:083-250-8980
◆地域の状況（人口）11,783 人（世帯数）5,901 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）長成中学校（面積）7.29 ｋ㎡
◆設 置 部 会 ▪つたえよう部会 ▪つくろう部会 ▪つなごう部会
▪自主防災組織
◆活動の概要 ▪まちづくり研修会 ▪広報紙の発行 ▪世代交流イベント
▪災害弱者安心プランの作成（防災講習会等） ▪健康づくり
▪花とこころのまちづくり ▪分野別のまちづくり計画の実施
▪子供・地域の交流 ▪認知症にやさしいまちづくり 他

【事例１】城下町長府ふるさと祭り と 地区文化祭

【活動のきっかけ】

地域に「まち協」の組織や活動を認知してもらおうと、この地域で最も大きな行事に参加して PR するとともに、会員にもボランティア活動で達成感を味わってもらうために行いました。

まち協スペースにてくじ引

まち協合唱団の楽曲披露

【活動内容】

◆城下町長府ふるさと祭り
【実施日】令和元年 7 月 13 日(土) 16~20 時
【場所】下関市立長府小学校校庭と体育館
【内容】・まち協合唱団の楽曲披露
・書道パフォーマンス
(団扇に希望の字を書いて配布)
・長府東西夢合戦(綱引き!)
・中学生による夜店コーナー(輪投げ)

◆地区文化祭
【実施日】令和元年 11 月 9 日、11 月 10 日
【場所】長府東公民館
【内容】・まち協合唱団の楽曲披露
・まち協ブースでの広報活動&くじ引き

「卒業しても手伝いたい」
といった声を多数いただきました

【活動の成果と今後の展開】

◆成果
中学生が自主運営することで、達成感を味わえました。
地域の方に「まち協」の PR ができ、ボランティアと一般参加者とのコミュニケーションがとれました。
◆今後の展開
ふるさと祭りでは、地域住民がもっと事業（ボランティア活動）に参画できるような内容の検討を進めていきます。

【事例２】ハロウィン&イルミネーション プチフェスタ

【活動のきっかけ】

以下3点を目指しながら、中学生が企画したイベントを実施することとしました。
①中学生に成就感・達成感を感じてもらい、まちづくり参画に対する関心・意欲を高める。
②地域住民にまちづくり協議会を PR するとともに、まちづくりに対する意識の高揚を図る。
③長府駅前付近のイルミネーションによる華やかさの演出をする。

午後５時～午後８時まで点灯！

【活動内容】

【実施日】令和元年11月9日
＊イルミネーションは12月25日まで点灯!
【場所】長府東公民館屋内外
【内容】<ハロウィンイベント>
●公民館内の約10部屋を家に見立て、仮装した子ども達が訪問。
●各家のスタッフが訪問した子ども達にお菓子を振る舞いました。
●まち協合唱団が、公民館正面玄関で楽曲披露を♪

【活動の成果と今後の展開】

成果
●企画と当日のお手伝いをした中学生が、達成感を得られました。
●長府駅周辺住民や駅利用者など300名近い参加を得ました。
●イルミネーションにより賑やかになったと好評を得ました。

今後の展開
①中学生・小中学校 PTA 関係者のまち協行事への積極的な参画を得ることを目指します。
②イルミネーションを公民館玄関前から長府駅方面にかけて電飾することで、地域の活性化を図ります。

【事例３】３自治会(千鳥ヶ丘・才川１・２町)避難訓練とまち歩き

【活動のきっかけ】

地域住民の防災・減災に対する認識を深めるために実施することとしました。避難所への経路を確認し、防災マップを作成しました。

【活動内容】

◆3自治会による机上訓練 市の防災マップを使って机上訓練を実施。
◆3自治会によるまち歩き
3自治会からの参加者とまち協自主防災組織隊員が避難経路確認。
⇒6回の作業を重ね「3自治会防災マップ」作成!
◆3自治会避難訓練
土砂災害を想定して、3自治会から62名・関係者含め91名で長府東公民館へ避難を。●子どもや車いすなどを含めた徒歩避難。●パトカー・職員の協力により避難所へ。●東消防署職員による AED と人工呼吸の訓練、簡易トイレなどの避難所体験、非常食体験。

【活動の成果と今後の展開】

成果
①災害時や悪天候時の徒歩避難をどうするのかという大きな課題が判明しました。
②警察や消防の協力による緊張感のある訓練に対し、参加者から高評価を得ました。
③まち協加盟団体の絆が深まりました。
④まち協自主防災組織隊員の意識向上が図れました。

今後の展開
毎年避難訓練を開催予定です。「住民の災害に対する意識の向上」「隊員の質の向上」「避難所運営」「各自治会での防災の取組」「自主防災隊員の増員」を目指しています。

徒歩での避難訓練

東部５地区

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　toubu5k@wind.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

◆設立年月日　平成 27 年 12 月 1 日

◆事　務　所　〒750-1142 下関市小月本町一丁目７番７号
小月公民館内
☎／🖷:083-250-7330

◆地域の状況（人口）25,923 人（世帯数）11,944 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）東部中学校・木屋川中学校（面積）73.39ｋ㎡

◆設 置 部 会 ▪総務部会 ▪環境部会 ▪安全・安心部会
▪健康福祉部会 ▪青少年育成部会 ▪産業・観光部会

◆活動の概要　▪広報紙発行 ▪防災訓練及び防災研修会
▪災害時対応ゲーム ▪認知症、徘徊者声かけ模擬訓練
▪史跡案内看板新設、修理作業 ▪子どもを対象とした防災教室
▪ゴミのポイ捨て防止看板設置、ゴミのポイ捨てパトロール　他

【事例１】子供宿泊防災教室

避難所生活体験
AED 体験
応急給水活動訓練

【活動のきっかけ】

災害は、いつ・どこでも起きることを考え、いざという時のために役に立つ知識・技能を身につける為、当該事業に着手しました。

【活動内容】

【実施日】令和元年９月 21 日・22 日
【実施場所】王司小学校 体育館
【実施内容】
①防災探検・マップづくり
②非常時の炊事体験
③非常時の生活疑似体験・避難所生活体験
④AED 体験
⑤給水タンク車を使用した応急給水活動の訓練

マップづくり！

【活動の成果と今後の展開】

もしもの時の疑似体験を通して、主体的に判断し、行動する力や、友達との共同生活の中で、互いに助け合う心を学びました。

【事例２】おもしろ算数・理科実験教室

【活動のきっかけ】

東部５地区の子供たちが学ぶ楽しさを実感すること、算数・理科がますます楽しいと思える体験学習の場を作ることを目的に計画・実施しました。

【活動内容】

100 人を超える子供たちが参加しました。大きな風船を膨らませ空気の力を試す理科実験やプロペラのはたらきとドローンのしくみを学ぶほか、算数では紙コップのふちがなくなるとどうなるかといったことなど、身の回りのものとつなげて考える授業を子供たちは体験しました。

【活動の成果と今後の展開】

目の前で繰り広げられる身近なふしぎに子供たちは目を輝かせていました。
今後は他地区での開催を順次予定しています。

【事例３】花いっぱい運動

【活動のきっかけ】

地域住民の交流と、環境美化を推進するために行いました。

【活動内容】

小月公民館に集まり、まちづくり協議会と小月小学校２年生 40 人で、ナデシコの苗約 800 株をプランターに植えました。
各プランターに５個程度並べ、土をかぶせて肥料をまきました。プランターは、公民館や歩道などに設置。王司・清末・吉田・王喜にも 100 株ずつ植えました。

【活動の成果と今後の展開】

花いっぱい運動を通して子供たちやたくさんの人がふれあい、まちがにぎやかになりました。この活動がまちづくりの基になると思っています。今後もこの活動を広げていきたいです。

勝山地区

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　https://katsuyamachikuinfo.wixsite.com/katsuyama

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　katsumachi@theia.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

◆設立年月日　平成 28 年 12 月 15 日

◆事　務　所　〒751-0872 秋根南町二丁目4番33号
勝山公民館内
☎／🖷:083-250-7522

◆地域の状況（人口）25,156 人（世帯数）12,484 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）勝山中学校（面積）21.94k ㎡

◆設 置 部 会　▪地域活性化部会　▪教育文化部会　▪健康福祉部会
▪居住環境部会　▪安心安全部会

◆活動の概要　▪広報紙発行　▪ハザードマップ作成等　▪勝山郷土史研修会
▪まちづくり活性化研修会　▪健康フェスタ
▪美化運動（花いっぱい活動、砂子多川の改善活動） 他

【事例１】体験交流農園「井田の里」開設運営支援

【活動のきっかけ】

勝山地区で過疎化が進む農村地域の振興につなげるため、自然に恵まれ整備された農業環境や、ヘルシーランドの近接性等地域の資源を活用した拠点づくりを目指しています。そういった状況の中、農業への理解を深める場の提供を通じ、利用者相互・地域住民と市街地に住む人々の交流を図るため、体験交流農園「井田の里」の開設に取り組みました。

【活動内容】

運営する農家を中心に、まちづくり協議会がJAやヘルシーランドと連携し、休耕田を活用して取り組んでいます。

①農園環境整備
●農業用倉庫の設置 ●農具の確保 ●駐車スペースの確保

②開園に向けての運営プランの検討・作成
●区画整備計画書 作成
体験ゾーン 6 区画、農園ゾーン 52 区画（約 23.2 ㎡）
●利用者募集パンフレット 作成
●利用者募集申込み、説明会開催計画 策定

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う各イベントの中止・延期の要請を受けて、予定していた4月開園を延期しました。速やかに実施できる体制を維持しています。

【今後の展開】

初年度はテスト開園として、農園ゾーンは20区画を募集しました。最終的には52区画を予定しています。
また、農園ゾーンのほかに市民と地域との交流の場として体験ゾーンを設けており、今後、JA職員やヘルシーランドと連携して、菜園指導・各種イベントを実施していく予定です。

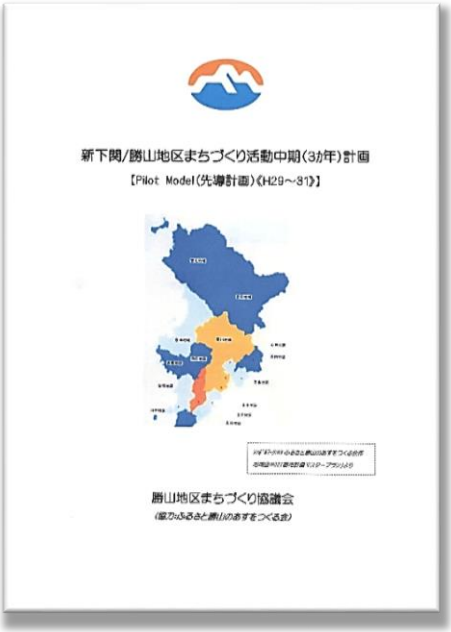
野菜の植え付けの様子

野菜の収穫中！

【事例２】「《R２～R４年度期》新下関/勝山地区まちづくり活動計画【R２改定版】」の取りまとめ・策定

【活動のきっかけ】

平成 30 年度策定の「まちづくり中期計画 PilotModel(先導計画)」(毎年度改訂)の R2 年度版として、市と「まちづくりの理念・将来像」を共有し、地域の特性を生かしたまちづくりを住民自らが実践していく「中期的ステップ」を明らかにするために実施することとなりました。
また、活動財源の確保と事業予算の適正執行に努め、協議会財政の健全性を保つとともに、3年間を見通した事業・施策等の「選択と集中」を図り、計画的・効率的なまちづくり活動の展開を図ることを目指しています。



【活動内容】

①初めての「まちづくり３カ年計画(年度改定版)」策定
「まちづくり中期計画 PilotMode」l(平成 30 年度)に基づく、初めての３カ年計画を策定しました。
その中で、新下関/勝山地区の
●「まちづくりの理念(目標、方向性)」
●「まちづくり活動の目指す地域の将来像(ビジョン)」
をはっきりと掲げました。
それにより、住民の自主的な「企画提案」を広く吸い上げ、まちづくり活動を展開していくこととしました。

②まちづくり活動の推進体制
現在「部会」よる活動推進体制をとっていますが、将来は、運営委員会のもとに各ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾁｰﾑを置き、事業・施策の実現に向けた「事業本部制」に改めることを提案しています。

③個別事業計画策定ツール(資料のモデル様式等) 開発

【今後の展開】

協議会の活動推進体制を見直した上で、毎月の運営委員会に Prj.(ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ)リーダーも各々参加し、副会長の責任分担の下、当面３月分の「工程表」により担当事業の進行管理・調整等を行っていくこととしています。
特に、部会の垣根を超えた運営スタッフの応援を図り、事業を促進します。
こうした過程の中、各個別事業の計画資料等は、モデル様式への統一を図る予定です。

内日地区

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　https://utsui-machikyo.jimdo.com/

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　utsuimk01@helen.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

◆設立年月日　平成 28 年 1 月 26 日

◆事　務　所　〒750-0253 下関市大字内日下 1146 番地 5
内日公民館内
☎／📠:090-9067-7944

◆地域の状況（人口） 1,105 人（世帯数） 520 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）内日中学校（面積）29.64 k ㎡

◆設 置 部 会 ▪総務部会 ▪産業･環境部会
▪暮らしの安全と教育部会 ▪活性化･イベント部会

◆活動の概要 ▪地域づくり研修会 ▪総合防災訓練 ▪広報紙の発行
▪ホームページ作成管理 ▪農業の担い手の育成
▪子ども･高齢者の見守り ▪学校と地域の交流 ▪イベントの実施 他

～地域づくり研修会～

【事例１】ドキュメンタリー映画『奇跡の小学校の物語』鑑賞会

【活動のきっかけ】

私たちの内日地区にとって、学校統廃合は喫緊の重要課題です。学校と地域はどのように関わっていけばみんなの幸せに繋がるのか、地区住民ひとりひとりに考えてほしいという思いから、本年度の地域づくり研修会をドキュメンタリー映画の上映に決めました。

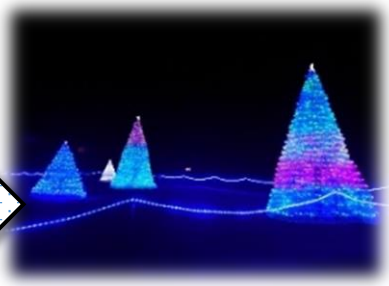
【活動内容】

【実施日】令和元年 11 月 23 日
【場所】内日公民館講堂
【内容】
昼夜 2 回の上演を行いました。栃木県宇都宮市の小学校が、校庭の桜をテーマに地域と一丸となって学校を変革し、5 年で廃校の危機から脱して飛躍的に児童数を増やし、活気溢れる学校を取り戻す実話に基づいた映画でした。観覧は無料で、地区内の家庭全戸に上映案内を配布しました。

地区内外から
８４名の
来場者が！

【活動の成果と今後の展開】

映画の内容は素晴らしかったのですが、他の行事と重なる時期で思うほどの来場者を得られなかったのが残念です。参加者からは高評価で、ぜひとも学校を存続してほしいとの意見が多く寄せられました。学校PTAや一部の役員だけでなく、地区全体で小中学校統廃合問題に取り組んでいきたいと、決意を新たにしました。



【事例２】『ペットボトルツリーを眺める夕べ』開催

【活動のきっかけ】

地区全体でペットボトルを集め、延べ 50 人を超えるスタッフで作り上げるペットボトルツリーは、内日地区の冬の風物詩となっています。このツリーを一人でも多くの方に間近で眺めてもらいたい、ゆったりと過ごしてほしいと、昨年度からこの集いを始めました。

【活動内容】

令和元年 12 月 8 日の点灯式当日と 12 月 28 日に温かい飲み物とぜんざいのもてなしをしました。今年度は薄暗くなってから午後7時までとし、出かけやすい時間帯に開催しました。
8 日は、内日中学校生徒有志のバンド演奏でクリスマスムードを盛り上げました。28 日には、お話と光で楽しむブラックパネルシアターの上演を行い、子どもたちがたくさん集まりました。

【今後の展開】

地区全体で作り上げるツリーを、1 人でも多くの方に楽しんでもらえるよう、製作・もてなしとも今後も試行錯誤を重ねます。

【事例 3】いちご狩り＆芋の苗植え体験イベント

【活動のきっかけ】

内日地区ならではの豊かな自然環境を活かして、地域の子どもたちに収穫の喜びや土の感触を味わってほしいと考えて、今年度から企画しました。通う学校や年齢を越えた親子の交流の場になってほしいと思っています。

いちご狩り

芋の苗植え

【活動内容】

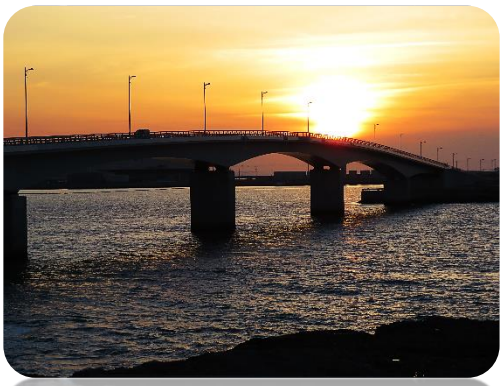
【実施日】令和元年 6 月 9 日
【対象】内日地区在住の中学生以下の子どもとその保護者
【参加人数】36 名
【活動内容】
①いちご狩り
いちご農家のビニルハウスにていちごを摘み取って試食。
②芋の苗植え
地区内の農家の畑に移動し、さつまいもの苗植え体験。マルチングされた畑に芋苗を約 250 本植え付け、秋の収穫期に備えました。

【活動の成果と今後の展開】

いちご狩りも芋の苗植えも、子どもたちはもとより保護者の方からも楽しかったと好評でした。
また、年齢の近い子ども同士の交流の場ともなり、秋の芋掘りで再会する楽しみができたようです。
小規模なイベントながら、毎年継続して開催することで、着実に地域の子どもたちの繋がりが生まれています。

川中地区

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.kawamachi-dukuri.jp/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　kawamachi@galaxy.ocn.ne.jp


～長州出島～

【協議会 概要】
◆設立年月日 平成 28 年 9 月 28 日
◆事　務　所 〒751-0864 下関市伊倉町二丁目 1 番 1 号 川中公民館内
☎／🖷 :083-250-6525
◆地域の状況 （人口） 35,103 人 （世帯数） 16,397 世帯 (R1.10.1 現在)
（中学校区）川中中学校・垢田中学校 （面積）10.96 k ㎡
◆設 置 部 会 ▪総務、産業部会 ▪安全・安心部会 ▪環境部会 ▪福祉部会
▪子ども育成部会 ▪健康スポーツ部会 ▪垢田部会
◆活動の概要 ▪広報紙の発行 ▪ホームページの管理
▪高齢者対策事業「オレンジカフェ」 ▪ラジオ体操の推進
▪地区防災訓練 ▪川まち弥生まつり ▪子ども体験フェア
▪花いっぱい運動 ▪門松づくり ▪しめ縄作り 他

【事例 1】第 2 回「子ども体験フェア」

【活動のきっかけ】

川中地区の子どもたちの健やかな成長と豊かな心を育むことを目的とした「子ども体験フェア」の 2 回目の開催です。夏休みの自主学習を兼ねた工作等も取り入れつつ、人と人とのつながりの大切さに重きをおいた企画を実施しました。

【活動の成果と今後の展開】

今年度は多くの地域のボランティアスタッフや地元大学生の協力も得て、総勢 536 名による、賑やかな「子ども体験フェア」になりました。
さまざまな年齢層が、生き生きと活動している様を見た時、地域の活性化につながるものだと確信しました。
また、若い世代の子ども育成部会員の方や大学生たちのエネルギッシュな活躍に接し、あらためて若い人のエネルギーの必要性を感じました。
この「子ども体験フェア」は今後も継続すべきひとつの行事であると考えています。

【活動内容】

【人数】
●参加者 378 名（含保護者）
●運営スタッフ 74 名（子ども育成部会及び地域の指導者）
●下関短期大学保育学科 84 名（学生・教職員）

【講座名】全8講座
●料理（豆腐ハンバーグ・和菓子）
●木工作（本立て）
●牛乳パック工作（ランタン・小物入れ・宝石箱）
●ペットボトル工作（万華鏡）
●園芸（多肉植物の鉢植え）
●手芸（ビーズアクセサリー・髪飾り・ハーブサシュ）
●縫いさし
●昔の遊び（竹とんぼ・けん玉・お手玉）

【特別講座】
●造形遊び
（折り紙・貼り絵・野菜スタンプ）
●子どもたちと楽しむショータイム

下関短期大学保育学科の
学生・教職員による
特別講座!

昨年度よりも講座数を追加し、内容もフルート演奏を取り入れるなど工夫を凝らして、子どもたちが興味を持って参加が出来るようにしました。

【事例２】しめ縄飾りづくり

川中中学校にて

【活動のきっかけ】

新年を迎える準備のひとつに、師走の「しきたり」として受け継がれているしめ縄飾りづくりがあります。小・中学生にこの伝統文化・技術の継承をしていくため、体験型の行事として企画しました。

垢田中学校にて

【活動内容】

【人数】
●参加者 234 名
●ボランティアスタッフ 68 名
【場所】
①川中中学校 ②垢田中学校 に分かれて開催
【内容】
今年度で3回目の開催です。児童生徒が作製したしめ縄飾りは、各自が持ち帰りを。スタッフと共に作製したしめ縄飾りは、川中地区6校の小・中学校と、18ヵ所の町民館・公会堂・集会所等に飾りました。
そして、85歳以上の独居高齢者には、戸別に訪問して贈呈しました。昨年度は川中地区、今年度は熊野地区と川中豊町地区を対象にしましたが、次年度は綾羅木地区と垢田地区の方々に贈ることにしています。

【活動の成果と今後の展開】

子どもたちに人気の行事であり、年々参加者も増えてきました。指導される高齢者の方々と親子が楽しく、一生懸命取り組む様子を見るたびに、意義のある行事であると確信しています。大変好評であり募集枠を広げたいところですが、キャパシティの問題もあり、これ以上の参加者の受け入れは困難です。しかし「日本のしきたりを継承する」大切な行事として、出来る限り受け入れながら、継続していきます。

【事例３】ラジオ体操　～夏休みは子どもたちと一緒に！！～

【活動のきっかけ】

「いつでも どこでも 容易に」できるラジオ体操による地域住民の健康の維持・増進を目的に始めました。
夏休みにおける児童生徒への呼びかけは、規則正しいリズムで夏休みを過ごすための一助となると考えています。

【活動の成果と今後の展開】

夏休みに入ると、どの会場も、賑やかになります。無邪気で元気な子どもたちに接することは、高齢者たちに元気をもたらしています。
残念なことに、8 月の中旬過ぎには、参加する子どもたちが減少していきます。最後までやり遂げて、生活リズムを崩さないように夏休みを過ごして欲しいものです。今後更なる参加者の増員に向けて、工夫を凝らしてまいります。

【活動内容】

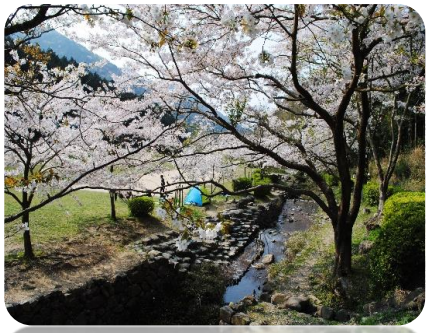
【活動場所と令和元年7・8月の実績人数】
◆川中中央公園
・毎朝 6 時 30 分～ 年中無休
・6,785 人(内 子ども 2,957 人)
◆えのき公園
・毎朝 6 時 30 分～ 日曜日休み
・1,893 人(内 子ども 681 人)
◆綾羅木新町 3 丁目公園
・毎朝 7 時 45 分～ 日曜日休み
・1,528 人(内 子ども 1,149 人)
◆川中豊町児童公園
・毎朝 6 時 30 分～ 年中無休
・2,699 人(内 子ども 1,574 人)

4地区にて実施 ♪

「夏休みラジオ体操」終了時、子どもたちに参加賞を贈りました。

安岡地区

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://yasuoka-kataroute.jimdofree.com/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　sukizaki583@vega.ocn.ne.jp



【協議会 概要】

◆設立年月日　平成 27 年 12 月 15 日
◆事　務　所　〒759-6612 下関市安岡駅前二丁目 7 番 1 号 安岡公民館内
☎／🖷 :083-250-8110
◆地域の状況（人口） 14,404 人（世帯数） 6,902 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）安岡中学校（面積）16.40 k ㎡
◆設置 部会　▪かたろーて部会 ▪ふるさとづくり部会 ▪くらしづくり部会 ▪ひとづくり部会
◆活動の概要　▪広報紙の発行、ホームページ管理、SNS管理 ▪フィールドワーク
▪防災、防犯対策 ▪友田川ほたる育成 ▪安岡マルシェほか地域産業育成
▪学童の見守り、高齢者の見守りと交流、
諸学塾(まち協 Café)、年末年始の火災予防
▪地域事業推進、地域美化運動、地域祭り推進、安岡巡り活動
▪文化祭参加ほか文化活動積極的参加 ▪友田川美化プロジェクト
▪昔遊び体験ほか地域内学校と交流 他

【事例１】「友田川を美しくする」

【活動のきっかけ】

昨年、令和２年度からの５か年計画の提案募集で、「友田川をもとの姿に戻す」と云う提案がありました。令和元年度の事業計画の中にも「友田川を美しくする」事業がありましたが、上記の提案は美しい川を創るだけでなく、全域に渡る環境保全活動であり、氾濫のない川とする計画です。
これを友田川の美化活動の発展型として採用し、直ちに取り組むこととしました。

【活動内容】

下関で氾濫のリスクが高い川で知られている友田川の中流域は、竹や木やかずらが繁茂し、川面も見えず、川沿いの道は軽トラック１台分の幅しかない状態となっています。令和2年１月から日曜日ごとに、10 数名が集まり、竹や木の伐採、そして土手に不法投棄された不燃ごみの撤去作業を実施しました。

【活動の成果と今後の展開】

１年目の目標である約 200mの区間の道幅は倍となり、道からは川の流れが見える状態に変わりました。朝夕、ウォーキングする人が増えて、憩いの場所になっています。
今後、氾濫に対する防災事業の面からも、まちづくり協議会のメンバーと地域住民が協力し、友田川の保全活動に取組んでいこうと考えています。
ウォーキングやジョギングが安心して出来る川へ、さらに、将来は川沿いに気持ちの良い公園を……というような「川から始まるまちづくり」を目指していきます。

【事例２】子ども見守り活動「7.3.15 運動」

【活動のきっかけ】

安岡地区は安岡小学校、安岡中学校、下関工科高校、下関総合支援学校があり、多くの児童生徒が育まれています。そういった中、若い世代の定住化により、児童数は今後横ばい・微増が予想されます。また、北バイパスの開通により道路交通事情も変化しており、交通事故等のリスクが高まってきています。以前から、子ども見守り隊の活動や自治会有志で登下校指導の見守りを行っていましたが、高齢化による担い手の減少など、子どもたちの安心安全を守る環境を見直す必要性があるということで、子どもの登下校時間（7:30～、15:00～『7.3.15 運動』）に当該事業を始めることになりました。

【活動内容】

①登下校時に見守り活動を行っている見守り隊・自治会有志の方々にお会いし、現状及び危険個所などの状況把握を行い図面を作成しました。
②学校運営協議会において上記の状況と合わせて登下校等の安心安全に関する地域課題を共有し、地域住民への啓発、見守り隊の募集、きらめきメールへの登録に関する啓発ポスターを作成し、協力者にタスキ等の資材を提供しました。
③登下校の見守り活動を行いながら自治会連合会の協力を得て啓発ポスターを全世帯に配布しました。
④安岡地区まちづくり協議会の広報紙『かたろーて安岡』に啓発ポスターを掲載、見守り活動の方々のインタビュー等の特集記事も毎月掲載しました。
⑤交差点等で、児童に横断の際の指導をしました。

【活動の成果と今後の展開】

【成果】
① 登下校時の見守り活動の参加者が増加しました！
② 学校付近の危険個所でほぼ毎日、見守活動が実施されるようになりました。
③ メール登録者増加により、登下校時の情報受信の他に、防犯・防災時にも役立てることが可能となっています。

【今後の展開】
① 学校、PTA、見守り隊などの団体一同が集まる情報交換の場をつくり、交流及び連携の強化を図ります。
② 住民の協力体制を整え、若い世代を育てます
③ 子育て世代に地域のボランティア団体の存在を知ってもらい、地域に関心を持つきっかけにします。
④ 「7.3.15 運動」とともに買物、ウォーキングなどを行うことで、生活の一部として負担なく継続できるような活動にしたいと考えています。

【事例３】歌 Café「諸学塾・まち協 Café」

【活動のきっかけ】

住民から「どこかでみんなで集まって歌いたい」と言う声が多数あったことや、これからは高齢者を含めたコミュニティが必要という考えから実施しました。

【活動内容】

安岡地区まちづくり協議会は、月に2回「諸学塾・まち協 Café」を開催しています。その内の1回を「歌 Café」としました。安岡・吉見地域包括支援センターの協力の下、①令和元年11月10日②令和2年1月19日③令和2年2月9日 と安岡公民館3階視聴覚室で楽しく開催しました。

【活動の成果と今後の展開】

参加者に、「集うこと・歌うこと」により、笑顔で楽しんで頂いています。また、歌うことによって、誤嚥予防など健康面にも良いことが。参加者からは、「これからも続けて欲しい」との要望が多数あがっています。
今後は、より多くの参加が頂けるよう定例化し、より一層、地域コミュニケーションが図れる場所にしたいと考えています。

吉見地区

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　https://yoshimiweb.com/

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　yoshimichiku-machidukuri@outlook.jp

【協議会 概要】

◆設立年月日　平成 27 年 11 月 4 日

◆事　務　所　〒759-6525 下関市吉見下 1533 番地
吉見公民館内
☎:083-250-8756　🖷:083-250-8211

◆地域の状況（人口）5,492 人（世帯数）2,949 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）吉見中学校（面積）26.50ｋ㎡

◆設 置 部 会　▪まちづくり部会　▪安全･健康･教育部会
▪イベント部会　▪吉母部会　▪蓋井島部会

◆活動の概要　▪ホームページの作成管理　▪広域防災訓練
▪吉見駅周辺、毘沙ノ鼻周辺ほか吉母史跡、島内ほか環境整備、観光整備（あじさい園、恐竜壁画アートほか）　▪登山道、ハイキングコース整備
▪高齢者安全、防犯対策研修会　▪読み聞かせの会ほか教育活動
▪他地区との交流　▪まつり共催　他

【事例１】毘沙ノ鼻整備事業　「恐竜壁画アート」

恐竜壁画
全景♪

【活動のきっかけ】

平成５年（1993 年）に吉母海岸で約１億４千年前（中生代ジュラ紀）の国内最古の恐竜足跡化石が発見されました。この貴重な発見事例を風化させないことと本州最西端の地である吉母地区の毘沙ノ鼻の環境整備と話題作りを目的とし、毘沙ノ鼻展望公園周辺と隣接する吉母管理場に恐竜の壁画を描くことにしました。

【活動内容】

地元在住の漫画家サカモトマサカ氏にアイデアをいただきながら、壁画だけでなく吉母管理場から毘沙ノ鼻展望公園までのフェンスに恐竜の足跡を取り付けたり、管理場内の重機を恐竜に見立ててペイントすることなどを企画しました。
吉母管理場との調整を重ねた結果、本年度は「展望公園前の壁画」「管理場建物（2 か所）の壁画」「フェンスに足跡パネル設置」「展望公園駐車場内および管理場内道路に足跡のペイント」を実施することになりました。
参加者は地元の小中学生と水産大生を中心に令和元年８月から 10 月にかけて３回にわたり実施しました。

【活動の成果と今後の展開】

壁画は地元の子供たちを中心に描いてもらいましたが、壁面の下地塗りや足跡パネルの作成、道路への足跡ペイントでは地域住民や管理場職員の方たちにボランティア協力をしてもらい、多くの人の参加を得ました。
マスコミにも取り上げられ、四端サミットが令和元年 11 月に下関市で開催された際には、四端の首長にも披露することができ、良かったと感じています。
今後は、管理場内の未着手の壁面や重機へのペイントを施すことで「恐竜壁画アート」を継続していくほか、恐竜卵化石の常設展示が始まった下関市考古博物館と連携した講演会の開催等も企画していく予定です。

【事例２】防災事業　「第８回よしみ地区合同 地震・津波避難訓練」

【活動のきっかけ】

平成 23 年（2011 年）の東日本大震災を受け、翌年から沿岸部にある吉見中学校を中心とした実行委員会を主催として地震・津波を想定した避難訓練が始まりました。吉見地区まちづくり協議会発足後は吉見地区まちづくり協議会が中心となって回を重ねてきました。

【活動内容】

平日に実施するため、保育園児と小中学校生徒、在宅の地域住民といった参加者が、警報発令を受けて高台（３か所）へ避難します。地元消防団、下関北消防署、下関警察署、下関市、海上自衛隊下関基地隊、水産大学校の協力の下、地区全体での大掛かりな避難訓練となりました。
また、避難後は各所で自衛隊員や消防署員、地元防災士による講話や避難時のデモンストレーションなどを行っています。

避難中の園児たち

土嚢を作る中学生たち

【活動の成果と今後の展開】

マンネリ化を防ぐため、避難後のデモンストレーションはダンボールのベッドや間仕切りの組み立て、非常食の調理・実食、土嚢を実際に作る等、毎年異なる体験型のイベントを実施しています。体験性が高いほど関心を持ってもらえているようなので、今後は参加者の数を増やすためにデモンストレーションの内容を事前に告知できればと考えています。

◒ 非常食の調理中 ◒

菊川地区

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://kikugawa-machikyo.jimdofree.com/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　machi-kiku927@dune.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

◆設立年月日 平成 27 年 9 月 28 日
◆事　務　所　〒750-0313 下関市菊川町大字田部 747 番地 4
菊川総合支所第3庁舎内
☎／🖷:083-250-8401
◆地域の状況（人口）7,547 人（世帯数）3,337 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）菊川中学校（面積）83.78ｋ㎡
◆設 置 部 会 ▪総務部会 ▪健康福祉部会 ▪地域活性部会
▪防犯防災環境部会 ▪青少年育成部会
◆活動の概要 ▪障がい者同志の交流会 ▪菊川町販わい事業 ▪広報紙発行
▪介護予防健康セミナー ▪キッズフェスタ ▪高齢者見守り事業
▪農業活性化講演会 ▪まち協と総合支所との懇談会
▪防災啓発マイタイムライン事業 ▪菊川見守り隊事業
▪環境美化活動 ▪あいさつ運動　他

【事例１】防災啓発マイ・タイムライン

【活動のきっかけ】

近年の大きな災害の頻発を受けて、地域住民の防災意識の向上を目的としています。
しかしながら、地域住民の防災意識の向上と具体的な取組には課題があり、意識改革のきっかけとして、近年取組が行われている「タイムライン」(防災計画行動)に着目しました。
マイ・タイムライン研修会を実施することで、住民一人一人が自分のこととして受け止められるように実施しました。

【活動内容】

マイ・タイムライン研修会の実施
(1)「災害に対する具体的イメージ」作り
・災害現場の映像や資料等を活用した展示
(2)「防災への具体的な必要性」を考える
・「マイ・タイムライン」研修会の開催

【活動の成果と今後の展開】

タイムラインの時列系を知ることによって、災害が発生してから慌てるのではなく、事前にやらなければいけないことが分かったほか、事業の目的である「地域の防災意識の向上」に資する内容となりました。
今後の研修では、災害の映像などを活用して、より実感のある研修を行うようにしていきたいと思っています。

【事例２】キッズフェスタ 2020

【活動のきっかけ】

菊川町も少子高齢化が進み、小学校入学児童が４名という学校も出てきています。
このような時代に、本町及び近隣の親子が一堂に会し、日ごろ体験できないような遊び等を提供することにより、出会いと思い出をつくり、ふるさと菊川への思いを深めてもらう場としたいと思いから実施しました。

【活動内容】

【実施日】令和２年２月 23 日
【会場】菊川ふれあい会館 アブニール
【内容】
●体験教室
・ストラップづくり ・琴体験教室
●理科実験教室
・3ブース(市保健部、市環境部、菊川中学校)
●絵本の読み聞かせ
●ステージイベント
・菊川町教員バンド演奏 ・ポコアポコ合唱
●ホールイベント
・はいはいレース ・ぞうきんがけレース
●遊び屋台
・ふわふわドーム ・射的
・ダーツ ・サッカーナイン

はいはいレース
&
ぞうきんがけ
レース

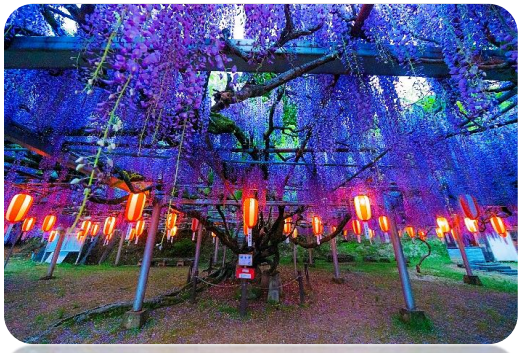
【活動の成果】

菊川中学校の１１人の生徒が、前日準備と当日の運営スタッフとして活動してくれました。
開始時間前から多くの親子連れの姿が……。
今回初めて、菊川町の先生方で構成した教員バンドの生演奏をオープニングに取り入れたことが、参加者の増加につなっがったのではないかと思います。
ホールでは、はいはいレースが行われ、親子や祖父母の熱い声援の中で大いに盛り上がりました。はいはいレース終了後、人形劇や読み聞かせをする部屋に誘導し、幼児や子供が多く集まり盛況に。
琴の体験教室については、熱心な指導のおかげで、子供だけではなく親子での参加が多くありました。
ぞうきんがけレースは、家庭や学校生活の中にも見られなくなってきた光景として好評です。

豊田地区

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://toyota.main.jp/

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　toyota.machizukuri@clock.ocn.ne.jp



【協議会 概要】

◆設立年月日　平成 28 年 2 月 2 日

◆事　務　所　〒750-0424 下関市豊田町大字矢田 149 番地1
豊田生涯学習センター内
☎／🖷:083-766-0775

◆地域の状況（人口）4,985 人（世帯数）2,344 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）豊田中学校（面積）163.47 k ㎡

◆設 置 部 会　■ネットワーク豊田町　■ネットワーク殿居　■ネットワーク豊田中
■ネットワーク三豊　■ネットワーク西市　■ネットワーク豊田下
（各ネットワーク内にふれあいグループ、ふるさとグループ、すこやかグループの3つを設置）

◆活動の概要　■広報紙の発行　■ホームページの管理運営　■空家の有効活用
■サイクルタウン計画　■花いっぱい運動の充実
■交流グラウンドゴルフ大会　■有害鳥獣被害防止策
■祭りで地域を盛り上げる 他

今回初めて町内の
りんご園にて行いました

【事例１】まちコンの実施

【活動のきっかけ】

男女の出会いの場を作り、若い人の町内定住を増やしていくために開催することとしました。
まちコンの実施は、令和元年度で4回目となります。

【活動内容】

今回、東長野地区のりんご園で行われたまちコンに28名が参加し、6組のカップルが成立しました。
りんご園に設置しているピザ窯で、参加者が思い思い作ったピザを焼き、楽しみました。

【活動の成果】

まちコンも4年目となる中、カップル成立後結婚をされ、子どもも生まれました。若い人の定住もあり、貢献していると思われます。

【事例２】健康づくり ウォーキング

【活動のきっかけ】

旧長門鉄道跡は、昨年１/２（8km）をウォーキングしました。
今回、残りの約8kmを歩き、全線踏破を目指しました。

菊川まち協との
共催で実施♪

【活動内容】

旧長門鉄道の菊川中山より、上小月までの約8kmで歴史ウォーキングを計画しました。
菊川・豊田地区より39人エントリーがありましたが、あいにくの雨で21名参加に。
旧停留所跡地の説明を聞きながらウォーキングしました。

旧長門鉄道の全線を
ほぼ踏破！

【活動の成果】

旧長門鉄道の存在を知ってもらったことは意義がありました。
他のまち協との共催で、事前準備の草刈りや、当日の運営まで行えたことは、他地区との交流もでき、成果があったものと思います。

豊浦地区

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://toyouramatidukuri.wixsite.com/kyougikai

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　toyoura-machidukuri@chic.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

◆設立年月日　平成 27 年 12 月1日

◆事　務　所　〒759-6301　下関市豊浦町大字川棚 7112 番地4
豊浦コミュニティ情報プラザ内
☎／🖷:083-227-2744

◆地域の状況（人口）16,817 人（世帯数）8,014 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）夢が丘中学校・豊洋中学校（面積）75.86 k ㎡

◆設 置 部 会　▪少子化対策部会　▪地域活性化部会　▪生活環境部会
▪医療福祉部会　▪文化・スポーツ部会

◆活動の概要　▪広報紙の発行　▪ホームページの作成管理　▪みかん DE デート
▪防災研修会　▪福祉講演会　▪ボッチャ体験教室
▪豊浦知っちょる会(中学生版)　▪川棚クスの森に関する説明会
▪とようら「農業祭」に参加　他

【事例１】防災研修会

【活動のきっかけ】

豊浦町内で毎年行われている防災訓練に付随して、机上での防災に対する予備知識を持つことを目的として開催しました。
まちづくり協議会の代議員の中に防災士の方がおられたり、新たに加入されたりしたことも、開催のきっかけとなりました。

【活動内容】

・下関市の防災体制の説明
・豊浦地区で起こりうる地震とその対応についての説明
・DVD による災害に関する説明
・大規模地震を想定した家庭における災害図上訓練(DIG)
・豊浦地区の避難体制づくりについての説明
・避難食の試食や、防災グッズの紹介

【活動の成果】

災害に対する心構えや、家庭内における危険箇所に対する対応を理解してもらいました。
自然災害が多発していた時期ということもあり、参加者の皆さんは、熱心に意見を交わされていました。

避難食の試食も◒

【事例２】地区出前講座

【活動のきっかけ】

色々な講演会が豊浦町では開催されていますが、開催場所は川棚公民館で行われることが多い状況です。
豊浦町の広さからすると、川棚以外在住の参加希望者は、移動距離を億劫に感じ参加をやめている方もいるのではないかと考えました。そこで、豊浦町内5地区別の福祉講演会を、各地区で行ってはどうか、というのが開催のきっかけです。

【活動内容】

2地区で開催しました。
どちらも講師を迎え、高齢者向けの身体と頭の体操を中心に講演しました。

【室津地区】
「転ばないための身体づくり教室」と題し、運動療法士の方を講師に迎え開催しました。

【小串地区】
体育学士の方を講師に迎え、頭の体操「トリック音読」やステップワークを行いました。

転ばないための
身体づくり教室

トリック音読♪

【活動の成果と今後の展開】

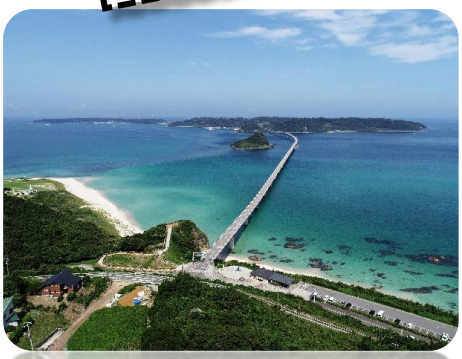
活動の成果
開催後の感想を聞くと、どちらの講演も好評でした。「歩いて来れる地域での研修会」を目標に開催しましたが、成功したのではないかと思います。

今後の展開
今回の開催に関して、室津地区は室津自治会連合会と、小串地区は小串地区社協と連携して開催することができました。このように今後も、地元団体とまちづくり協議会が連携して活動していけたら、活動の幅も広がるのではないかと思います。

まちづくりのヒント✍

●地元の各団体（特に事業に関連する団体）への参加要請や共催を。
●専門の有識者と連携して事業運営を行うことが重要です。
●同事業での別テーマの選定を！

豊北地区



ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　https://machikousaku.wixsite.com/mysite
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　machikousaku@gmail.com

【協議会 概要】

◆設立年月日　平成 27 年 12 月 8 日
◆事　務　所　〒759-5331 下関市豊北町大字神田 1199 番地 1
豊北生涯学習センター内
☎／📠:083-786-0010
◆地域の状況（人口）8,719 人（世帯数） 4,377 世帯（R1.10.1 現在）
（中学校区）豊北中学校（面積）168.64k ㎡
◆設 置 部 会 ▪企画部会 ▪活性化部会 ▪安全･教育部会
◆活動の概要 ▪広報紙の発行 ▪ホームページの更新管理 ▪校歌の保存と公開
▪フリーマーケット ▪地域防災研修会 ▪スマートフォンを活用した情報発信
▪シニア交通教室 ▪シンポジウム ▪婚活イベント（渚の交番）他

【事例１】恋活　～出会いの場をプレゼント～

一緒に宝探し

【活動のきっかけ】

昨年から始めた事業です。継続による効果を期待している事業なので、今年も開催しました。現在、豊北地区は高齢化率が 50%を超える中、人口１万人を切っており、10 年後には人口５千人程度になるのではと懸念されています。そういった状況の中で豊北町の魅力を伝えることにより、若者を定住させ、外部から新しい人たちに住んでもらうことを目指しています。

【活動内容】

【定員】男子 20 名、女子 20 名、計 40 名（応募範囲の限定無し）
【年齢】20 歳～40 歳
【時間】午前 10 時～午後 4 時
【内容】●地元地域クイズ･トークタイム●浜辺の宝探し●バーベキュー
●マリンスポーツ体験（クリアカヤック、サップ、水上自転車）
【目的】出来るだけ多くの人たちに豊北の良さを知ってもらおうと考えて定員を 40 名としました。会場は、日本国内で数か所しかない渚の交番を会場拠点として、豊北の魅力である海や景色、豊北一番の観光スポットである角島大橋が見える浜辺で行いました。レクリエーションに海遊びを取り入れることで、ここ豊北でしか出来ないことを PR させて頂きました。

【活動の成果と今後の展開】

当日のペアは 4 組出来ましたが、それよりも、まちづくり協議会の活動や思考を伝えられ、豊北の魅力や観光スポットを伝えることができたことが事業の成果に繋がったと思います。
まずは人に知ってもらう、足を運んで来てもらう、まちづくり活動が素晴らしいと思ってもらうことが、何かのきっかけに繋がると思います。そして、まちづくり協議会の活動を地元住民が知ることで、地域の人たちにも刺激になり、町全体のまちづくりへとつながれば、大きな力となります。結果に焦らず、まずは子供からお年寄りまでみんなで活動を行い、恋活活動を通じて豊北で新たな家族が増えることを目標に頑張ります。

【事例２】リーダーの防災研修会

【活動のきっかけ】

以前から実施していた防災研修会を、毎年でもやるべきではないかとの皆さんの意見から話を進めることになりました。自治会長をお呼びしてリーダーとしての動きを学びたいとの希望があったことや、インターネットで防災を検索した際に「防災士」という言葉が出てきたことが出発となり、リーダーの防災研修会が行われました。

【活動の成果】

各地区、各団体に出向いていくことも可能と聞き、早速やりたいとの声がありました。

【活動内容】

防災危機管理課・防災士連絡会から多くの資料の提供を受け、それを参加者に配布しました。講師は下関市防災士連絡会 清田会長・田中副事務局長がされました。
講習会後、企画部会が生涯学習センターの地階倉庫前で非常炊出しを実施。
●非常用炊出し(包装食)の手引き・非常食用(包装食)用袋
●主な具材:イノシシ
今までは座って講義を聞くのみでしたが、知らなかったお米の炊き方を学ぶ等、実践的な催しで防災研修を行いました。

非常用 包装食

【事例３】～西伊豆古道再生プロジェクト～ 松本潤一郎氏 講演会

【活動のきっかけ】

豊北町と似た様な人口・住環境の西伊豆で活動している松本氏をメディアで知った時、この町でも同じようなことが出来るのではないかと思い講演会を決定いたしました。

【活動内容】

新型コロナウィルスの感染拡大防止のため、内容を変更して行いました。
【実施日】令和2年 2 月 29 日 午後2時～3時30分
【内容】前半 1 時間⇒松本氏の伊豆での活動紹介
後半30分⇒質疑応答
山を所有されている方をはじめ、土地の利活用をお考えの方、これからの進路を考えている中高生など多くの方々に、様々な経験をされている松本氏のお話をぜひ聞いて頂きたいと思い、講演会を実施いたしました。

【活動の成果】

約 100 人近くの方に講演会を聞いていただき、まちづくりに対して関心の高い方が多いことが分かりました。遠くは熊本からお越しくださった方もいて、告知の行い方など勉強になったと感じています。

《令和元年度　下関市まちづくり協議会活動事例集》

令和２年７月発行

下関市市民部まちづくり政策課
〒750-8521　下関市南部町１番１号
TEL.083-231-1261　FAX.083-231-1809
E-mail: skshimin@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

…地域サポート室…
〒750-0008　下関市田中町５番６号
TEL.083-231-1385　FAX.083-231-1383
E-mail: chiikisuport@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

下関市のホームページ
http://www.city.shimonoseki.lg.jp